

◆普通徴収に該当する方がいる場合

個人別明細書の（摘要）欄にその理由（略号A～D）を必ず記入し、右の「普通徴収切替理由書（兼仕切紙）」へ理由ごとの人数を記入してください。

ただし、乙欄該当者と退職者（予定者含む）は所定の欄にその
※切替理由書（仕切紙）の添付又は個人別明細書の（摘要）欄への略号記入がなければ、原則として特別徴収と取り扱いますので、

令和 年 月 日

普通徴収切替理由書（兼 仕切紙）

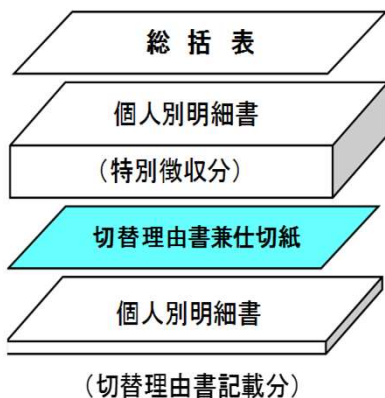
佐用町長 あて

指定番号	
事業所名	

普通徴収として取り扱う給与受給者の人数と切替理由ごとの内訳は下記のとおりです。

略号	普通徴収への切替理由（下記4項目以外の理由は不可）	人数
A	退職者または給与支払報告書を提出した年の5月31日までの退職予定者	人
B	給与支払額が少なく、個人住民税を特別徴収しきれない方	人
C	給与の支払が不定期（毎月支給されていない）な方	人
D	他の事業者から支払われる給与から特別徴収されている方（乙欄適用者）	人
普通徴収合計人数		人

〈提出時の綴り方〉



〈給与支払報告書個人別明細書 抜粋〉

乙欄摘要又は退職年月日の記入があれば、略号の記入は不要です。退職予定者は、退職予定日を（摘要）欄に

・今回、給与支払報告書を特別徴収として提出された従業員の方で普通徴収への切替理由に該当したときは「給与所得者異動届出書」の提出をお願いいたします。

・現在特別徴収の対象である従業員の退職、休職等の理由により、その方に給与を支給しなくなった場合は、「給与所得者異動届出